

教職員向け「指導の手引き」



7 2017年4月1日
環境省設置

11 2017年10月1日
環境省設置

12 2018年10月1日
環境省設置

13 2019年10月1日
環境省設置

14 2020年10月1日
環境省設置

考えよう！

わたしたちのくらしと環境・エネルギー

～プラスチックごみ問題～



自分が捨ててなくても拾う。捨てたもんやないね、大阪。



海からの SOS ゴミ 沈んでいますよ

ポイ捨てはやめましょう



プラスチックごみで生き物たちをキズつけないように

いなか痛いやー

いわくです

にんげんが捨てたプラスチックごみ

見えていますか？

我々人間が使ったプラスチック製品が地球上の動物を苦しめているという現実

		
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○
○	○	○

自分ができることを見つけてみましょう



分別 おおきく

※表紙には、「おおさかデジタルポスターコンテスト」の2017～2019年度の受賞作品を使用しています。




年 組

名前

大阪府広報担当副知事もずやん

この手引きは、「考えよう！わたしたちのくらしと環境・エネルギー～プラスチックごみ問題～」を使用する際に、環境学習につながる資料や大阪での状況・対策を学習する資料として参考となる情報を整理したものです。

大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

プラスチックごみ問題 (p.2)

①プラスチックごみによる環境問題

ねらい

- 世界的に大きな問題となっているプラスチックごみ問題について知り、プラスチックごみを減らすための身近な行動につなげる。

留意点

①プラスチックごみによる環境問題

- ・ 写真を見せて説明することで、プラスチックごみによって、海の生き物に影響を与えたり、景観を損なうなど、悪影響を与えていることを伝える。
- ・ 海洋ごみ（漂流・漂着・海底ごみ）は、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下、景観への悪影響、船舶航行の障害、漁業への影響等、様々な問題を引き起こしている。

? 「マイクロプラスチック」ってなに？

- ・ 近年、マイクロプラスチック（5mm以下になったプラスチック）という微細なプラスチックごみが、沿岸及び海洋の生態系に影響を及ぼす可能性がある「海洋の環境問題」として、世界的な課題となっていることを伝える。

? このままだと、どうなっちゃうの？

- ・ 海のプラスチックごみの量は年々増えており、このまま増え続けると、2050年までにごみの量が世界中の魚の重量を超えてしまうとの試算がある。
- ・ プラスチックごみ問題が、近い将来さらに深刻な課題となり得ることを伝える。

① プラスチックごみによる環境問題

近年、適正に処理されずに捨てられたプラスチックが、海や川へ流れこみ、環境を汚染していることが世界的に大きな問題となっています。プラスチック製品は、安くて使いやすいことから急激にふきゅうして、わたしたちの生活を便利にしてくれています。しかし、その一方で、一度海へ流れ出したプラスチックごみは、自然に消えてなくなることはなく、多くが半永久的に残り続けてしまいます。さらにマイクロプラスチックになると、海中の有害物質を吸着しやすくなり、生物に影響をおよぼすおそれもあるのです。

大阪府内の海岸に流れ着いたごみ

漁網が絡まったワニガメ

写真出典：NOAA (National Oceanic and Atmospheric Administration)

? 「マイクロプラスチック」ってなに？

海や川に捨てられたプラスチックごみが、太陽の熱や紫外線などはたらきで割れてくだけて5mmより小さくなったものを、「マイクロプラスチック」といいます。洗たく機からの排水にも、合成せけんなどのポリステルなど、マイクロプラスチックのもとになる物質がふくまれています。

海や川の生き物はそれをえさとまちがえて食べてしまうことがあります。さらに、食用している小魚の内臓をとって、わたしたちの体内に入ってくるおそれもあります。

? このままだと、どうなっちゃうの？

魚よりもごみの方が多くなってしまおう！

世界では、1年におよそ800万トン（ジェット機5万機分）のプラスチックごみが海へ流れ出ているといわれています。

自然の力では分解されないプラスチックごみ。

このまま増え続けると、2050年には、全世界の海で泳いでいる魚の重さより、海にうかんているプラスチックごみの重さの方が多くなってしまってもいいかもしれません。

2050年

出典：世界経済フォーラム2016年レポート

プラスチックごみ問題 (p.3)

②プラスチックごみはどこから？

留意点

②プラスチックごみはどこから？

- 街中でポイ捨てされたプラスチックごみが、川から海へ運ばれて、海のプラスチックごみとなっていることを伝える。
- また、大阪湾では、プラスチックごみが漂流するごみの約8割を占めており、食品包装材やレジ袋、ペットボトルなどの「使い捨てのプラスチック」が、そのうち約3割をしめています。

世界の動き・大阪府の取組み

- G20サミットで主要テーマとして取り上げられるなど、近年、海洋プラスチックごみが世界的な問題となっていることを伝える。
- 2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が世界各国で共有されたことを伝える。
- 2019年1月の「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」以来、大阪府は企業や団体などと連携し、マイボトルの利用促進によるプラスチックごみの削減や海洋プラスチックごみの回収、漂着ごみの調査など、様々な取り組みを進めている。

② プラスチックごみはどこから？

海に流れこむプラスチックごみは、直接海に捨てられたものだけでなく、道路や街中などにポイ捨てされたごみも、雨や風で流されて、川から海へ運ばれています。海のプラスチックごみの多くが、陸域由来と考えられています。

大阪湾では、プラスチックごみが漂流ごみの全体の約8割を占めており、レジ袋やペットボトル、食品包装材などの「使い捨てのプラスチック」が、そのうち約3割をしめています。

世界への動き - 大阪府の取組み

2019年6月に開かれたG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみ問題が主要な議題として話し合われ、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。

大阪府では、2019年1月に大阪府と共同で「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、海洋プラスチックごみの回収や漂着ごみ調査など、プラスチックごみゼロに向けた取組みを進めています。

G20大阪サミット2019

プラスチックの新しい法りつで変わる私たちの暮らし

2050年までに海に流れこむプラスチックごみをゼロにするためには、使い捨てのプラスチックを減らすことや、使ったプラスチックを再び資源として利用する「リサイクル」を進めることなどが必要です。

このような取組みを今まで以上に進めるために、2022年4月からプラスチックの新しい法りつが始まりました。

私たちのくらしはどう変わるの？

 リユース 少ない材料でつくられる製品や、リサイクルしやすい製品が増え、環境にやさしい商品が選べやすくなります！	 無料で提供されていたスプーンなどの使い捨てプラスチックが有料になったり、他の素材に変わったりします！	 使用済みプラスチック製品の回収が進み、今まで燃えるごみなどで処分されていたプラスチックごみがリサイクルされるようになります！
--	--	--

原簿出典：環境省

プラスチックの新しい法りつで変わる私たちのくらし

- 2022年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行された。
- 本法律によってどのような世の中が変わっていくかを理解し、日々の生活の中で、プラスチックごみ削減のために何ができるかを考えるきっかけとする。

参考資料

- ◆おおさかプラスチックごみゼロ宣言 <https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/kaiyoplastic/index.html>
- ◆「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画について https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/kannou_sdgs/blue-ocean-plan.html
- ◆プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（環境省） <https://plastic-circulation.env.go.jp>

プラスチックごみ問題 (p.4)

③調べてみよう！ごみの種類

留意点

③調べてみよう！ごみの種類

清掃活動で集めたごみについて調べる

- 学校周辺で自分たちでごみ拾いを行い、例えば「ごみ調べカード」を使って調べ、どのようなごみが多いのか、グループで発表しあうことで、ごみの現状について、理解を深めることができる。

詳しくはこちらのQRコードをご覧ください。簡易版調査カードや調査入力シートをダウンロードすることができます。



③ 調べてみよう！ごみの種類

私たちの街の中に、どんなごみが落ちているか、「ごみ調べカード」を使って調べてみましょう。

① ごみ調べカードの使い方

- ① ごみ袋・軍手・火ばさみなどを準備し、ごみ拾いをしましょう。
- ② ごみ調べカードを使ってごみを分類し、それぞれのごみの個数を数えましょう。
- ③ 数えたごみの個数をカードに書きましょう。

学校のまわりや、歩道、公園、海岸（砂浜）など、身近なところでごみ拾いをしましょう！

飲料・食品以外の容器包装	飲料・食品以外の容器包装	その他
1 飲料用PETボトル 本体	8 飲料用の容器包装 飲料の容器等	11 タバコ類 包装
2 ペットボトルキャップ プラスチック	9 使い捨て容器 プラスチック	12 使い捨てライター
3 コップ類 プラスチック	10 その他の容器包装	13 その他のごみ
4 折り紙 (スチール・フェルト)	5 折り紙以外のプラスチック製 おもちゃ・遊具類など (おもちゃ・遊具類を除く)	

ごみ調べカードのプラスチックの分類の一部です。調査カードはQRコードからダウンロードできます。くわしい調査方法もついています。

QRコード

◆ どんごみが多かったかな？
◆ ごみを減らすために、私たちにできることは何かな？
調べたことを家族や友達に伝えてみよう！

④ 恩智川でのごみ調査の結果

ペットボトルやレジ袋、食品の容器包装など、わたしたちの生活から出ているごみが多い割合を調べてみました。

ごみの内訳 (個数ベース)

PETボトル	23%
飲料用	7%
その他	1%
レジ袋	44%

全体の約7割

出典：大阪府（令和2年度調査）

⑤ 動画で学ぼう！

大阪湾の環境保全に関する動画「ハッピー・オオサカ・ベイベース」海洋プラスチックごみ問題や今日からできる取組みなど、クイズを交えて楽しく・分かりやすく学べます。

くわしくはこちら

大阪府 ハッピー・オオサカ・ベイベース

恩智川でのごみ調査の結果

- 令和3年度に恩智川において、ごみ組成調査を実施した結果、回収したごみの約7割がペットボトルやレジ袋など日々の生活から出るプラスチックごみであった。
- 日頃から使い捨てプラスチック製品をなるべく使わないよう心掛けることが、海洋プラスチックごみ問題の解決につながることに気付くようにする。

海洋プラスチックごみ問題について分かりやすく学べる動画

- 大阪湾の環境保全に関する子ども向け啓発シリーズ動画「ハッピー・オオサカ・ベイベース」（全5話）を紹介している。
- 海洋プラスチックごみの削減など、環境の保全に向けて今日からできる取組みについて考えるきっかけとする。

<ごみ調査に関する報告・お問合わせ先>

大阪府 環境農林水産部 環境管理室 環境保全課 環境計画グループ
TEL : 06-6210-9577 E-mail : kankyokanri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

プラスチックごみ問題 (p.5)

④プラスチックごみを減らすために

留意点

④ マイクロプラスチックで万華鏡を作ってみよう

- 海岸や河川敷で手に入るマイクロプラスチックから万華鏡を作る方法を掲載している。
- マイクロプラスチックを実際に拾い、工作に使用するという過程を経て、海洋プラスチックごみによる海洋汚染の問題を身近に感じ、関心を持つきっかけとする。

④プラスチックごみを減らすために

- プラスチックごみを減らすために、身近にできることを伝え、自分たちにできることを考えるきっかけとする。

<参考情報>

○企業の取組み

例) 象印マホービン (株)

マイボトルを多くの人に利用してもらうために、イベントなどでの啓発活動や、カフェなどのおいしい飲み物をマイボトルに入れてもらえるお店を増やす取組みを行っている。

例) BRITA Japan (株)

イベントでのマイボトルの提供や環境教育など、使い捨てプラスチックの削減に向けた啓発活動を行っている。

例) (株) OSGコーポレーション


企業や団体、学校機関等と連携し、給水スポットの拡大やマイボトルの普及に向けた啓発活動を行っている。

このように、各主体が積極的に取り組むことが大切である。

④ マイクロプラスチックで万華鏡を作ってみよう

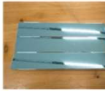
(材料) ・マイクロプラスチック ・ラップのしん (トイレットペーパーのしんでもOK) ・丸形クリアケース
・ミラーシート (100円ショップで買えます) ・黒い色画用紙 ・ゼロハンテープ ・はさみ

1




海岸や河川敷で、マイクロプラスチックを拾う

2




3枚のミラーシートを三角になるようにテープでため、ラップの芯の中に入れる

3



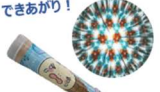
黒い画用紙の中心を切りぬき、ラップの芯の片方につける

4



マイクロプラスチックを入れたクリアケースを反対側につける

できあがり!



④ プラスチックごみを減らすために

プラスチックごみを減らすためには、使い捨てとなるプラスチック製品(レジ袋やストローなど)をなるべく使わないように心がけること、「混ぜればごみ、分ければ資源」という意識を持ち、ごみの分別などに取り組むことが大切です。そうすることで、地球上の限りある天然資源の消費をおさえ、環境への負荷をできる限り減らすことができます。できることから始め、プラスチックごみゼロをめざしましょう。

わたしたちにできること!

**使い捨てプラスチック製品を
使わないようにしましょう!**

- ✓ マイバッグやマイボトル、マイ容器など、くり返し使用できるものを使いましょう。
- ✓ 不要なレジ袋やストローなどをもらわないよう心がけましょう。

**プラスチックごみのポイ捨ては
絶対にやめましょう!**

- ✓ 屋外で出たごみは必ず持ち帰り、お住まいの市町村のルールにしたがって適切にリサイクル・ごみ出しをしましょう。

**地域のせいそつ活動に
参加してみましょう!**

- ✓ 大阪府内では、河川敷や海岸などで、さまざまなせいそつ活動が行われています。積極的に参加しましょう。

**環境にやさしい商品を
選んでみましょう!**

- ✓ プラスチックを減らしたり、リサイクルしやすい製品が増えています。買い物をするときは、環境に配慮した商品を選んでみましょう。

5

○大阪府と企業等と連携した取組み

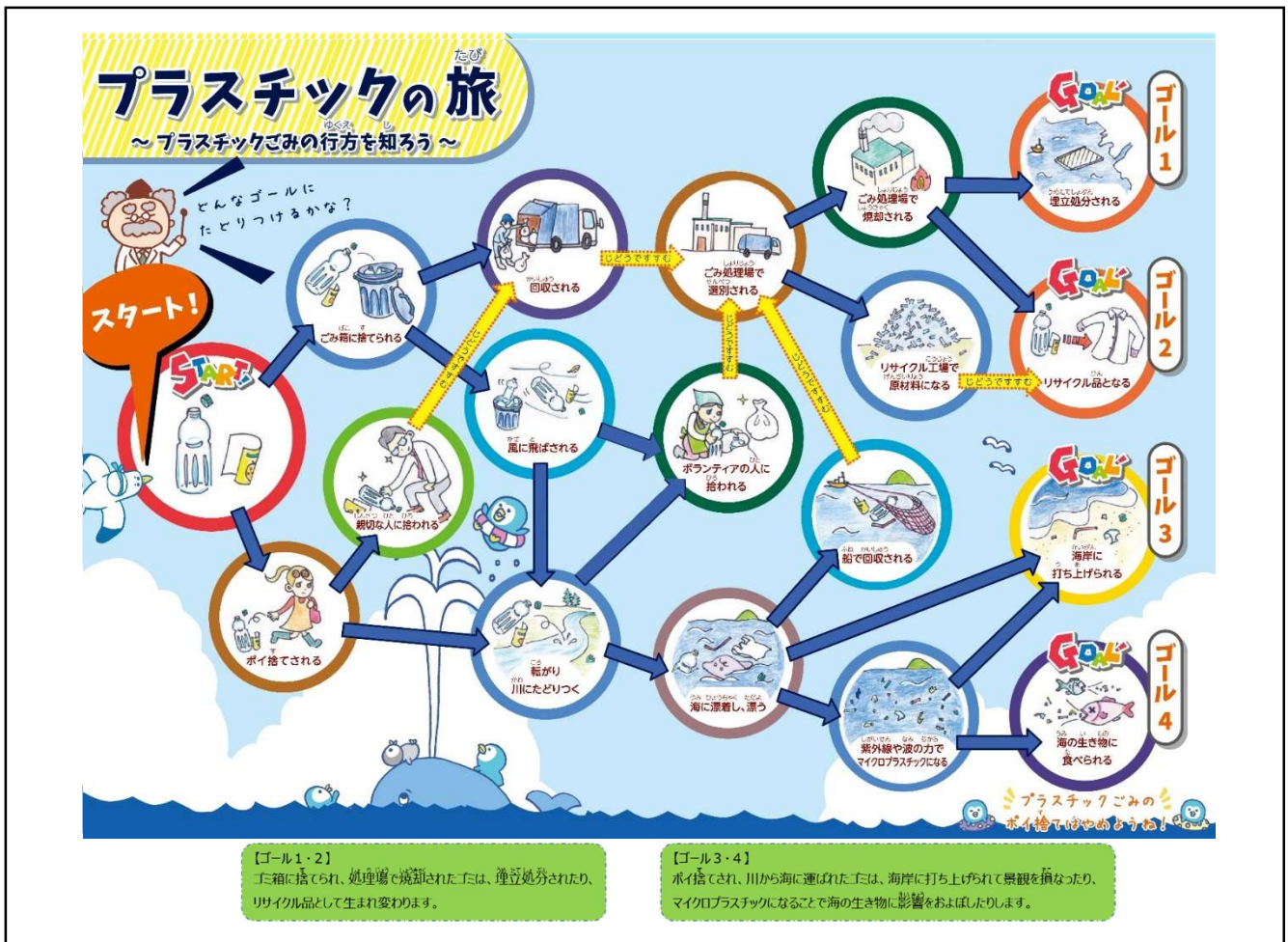
マイボトルの普及による使い捨てプラスチック容器の使用削減を進めるため、「おおさかマイボトルパートナーズ」を立ち上げ、マイボトルを利用しやすい街をめざしている。



参考資料

◆ おおさかマイボトルパートナーズ
<https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/mybottle.html>

プラスチックの旅 (p.6-7)



留意点

(体験学習) プラスチックの旅

- ペットボトルの気持ちになって、自分が行きたい矢印の方向、あるいは行きたくない矢印の方向を指で進めていき、どのようなゴールに到着するかを学ぶ。
- プラスチックごみは、ゴミ箱に捨てられ、回収、ゴミ処理場へ持ち込まれると、焼却後、埋立処分場で適正に処理されたり（ゴール1）、リサイクル品となり再利用（ゴール2）される。
- 一方、ポイ捨てされると、風に飛ばされたりして転がり、川から海に運ばれ、海岸に打ち上げられ、海岸を汚したり（ゴール3）、海の生き物に影響を与えたりする（ゴール4）。
- また、ゴミ箱に捨てられた場合でも、ゴミ箱が一杯で山積みになっていると、風に飛ばされ川から海へ運ばれてしまうこと、ポイ捨てされたゴミを見つけたら拾ってきちんとゴミ箱に捨てることで、適正に処理されることを伝える。

<参考情報>

① 焼却後のごみの埋立処分について

近畿2府4県168市町村で発生したごみは、各市町村等のごみ処理場で焼却されたのち、大阪湾にある埋立処分場で適正に埋立・処理される。

埋立により出来上がった土地は、コンサート等に活用されている。

埋立処分場（大阪湾広域臨海環境整備センター）



泉大津沖処分場



大阪沖処分場

※泉大津沖処分場は、ほぼ埋立が終了竣工した場所でイベント等が開催されている。

プラスチックの旅 (p.6-7) 【続き】

②プラスチックのリサイクルについて

回収されたペットボトルは、選別や破碎、洗浄を行うことでペレット状の原料とし、再度、ペットボトルとして、また、クリアファイルや衣類等として再利用される。

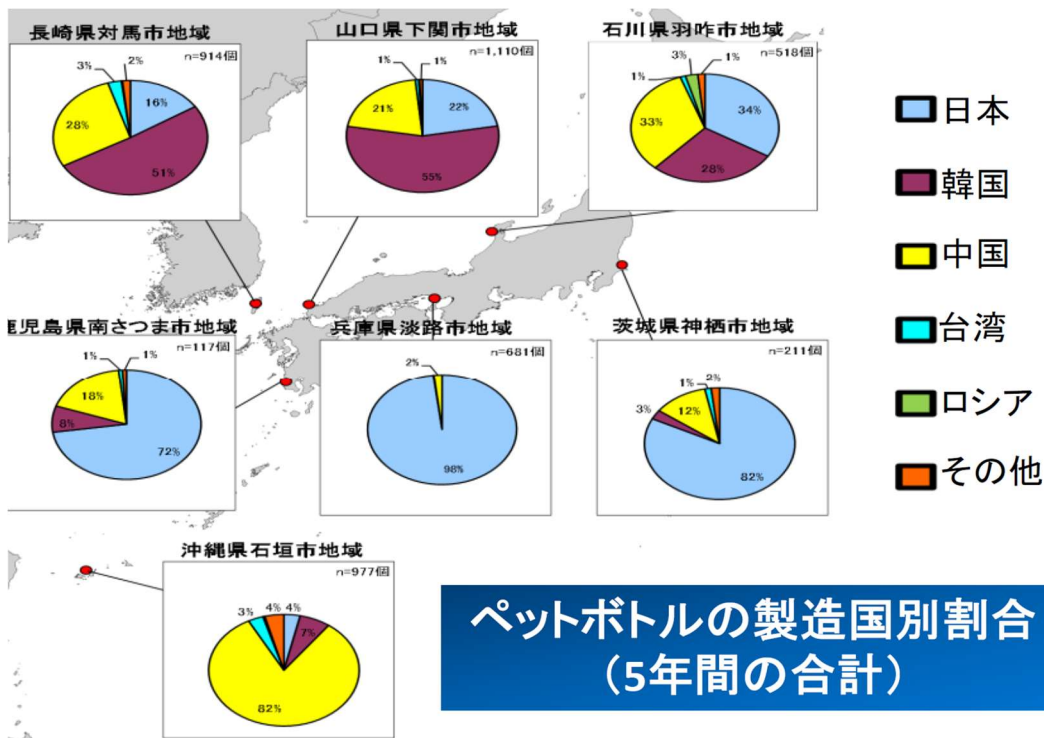


③大阪湾のプラスチックごみの現状

大阪湾の漂流・漂着ごみの約8割がプラスチック類で、そのほとんどが日本製。

(参考) H22-26 環境省による漂着したペットボトルの製造国別割合

- 大阪湾：98%が日本製
- 沖縄県：約8割が中国製で日本製は3%
- 長崎県、山口県：約5割が韓国製で日本製は数%



- 海洋プラスチックごみの大半（約8割程度と推計）は、河川を流れて到着した陸域由来のごみと言われている。
- 関西広域連合の調査結果では、大阪湾の海底にレジ袋300万枚、ビニル片610万枚が沈んでいると推計されている。

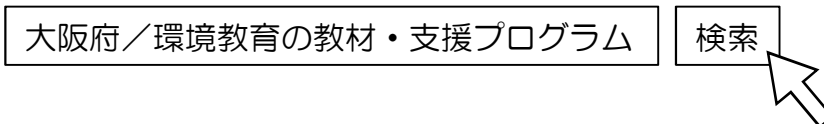
【参考情報】

<令和4年度 環境教育の教材・支援プログラムについて>

■大阪府教育庁のHP

民間企業や団体、行政機関が開発した環境教育の教材・指導プログラムをホームページで紹介しています。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kankyo-top/kankyo.html>)



<貸し出しツールについて>

■大阪府地球温暖化防止活動推進センター（一般社団法人大阪府みどり公社）

環境学習のより一層の推進を図るため、センターで所有する環境学習教材の貸し出しを行っています。パネルやDVDはもちろん、実験キットを使って体験しながら学習していただける教材など幅広く取り揃えております。

直接センターでの受け渡し、または宅配便等による貸し出しをしています。

(※送料は利用者のご負担となります)

(<http://osaka-midori.jp/ondanka-c/suishini/kasidasi/>)

<センター所在地>：

〒541-0054 大阪府中央区南本町2丁目1番8（創建本町ビル5階）



<引用元について>

■この「指導の手引き」は、大阪市環境副読本「おおさか環境科（小学校5・6年生）の「指導の手引き」から一部転載し、大阪府において編集しました。

なお、全文は大阪市環境情報サイト「なにわエコスタイル」

(<http://naniwa-ecostyle.net/>) からご覧いただけます。



■経済産業省資源エネルギー庁の副教材（エネルギー教育）

「かがやけ！みんなのエネルギー」

「わたしたちの暮らしとエネルギー」の解説編[教師用]

からも一部引用しています。



(<https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/tyousakouhou/kyouikuhukyu/fukukyouzai/>)

【参考情報】

<環境省 環境教育に役立つ情報サイト 環境学習STATION>

■脱炭素社会の実現に向けた新環境教育教材等が紹介されています。

小学校低学年から高学年まで、学年に合わせた授業展開例や動画が掲載されています。

[環境省 環境学習STATION \(env.go.jp\)](http://env.go.jp)



みんなで**変える**地球の**未来**

～脱炭素社会をつくるために～

<表紙について>

■「おおさか環境デジタルメディアコンテスト」

豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境に関するテーマとして、公共施設や民間施設の大型ビジョンやサインージ等で活用するデジタルポスターデザイン等を公募し、受賞作品を大阪府域で広く展開することで環境に対する意識の啓発を行っています。

表紙には、2019年度及び2021年度の受賞作品を掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/okdpcontest.html>)

学生の応募・受賞事例も多数ありますので、ぜひ一度ご覧下さい！



<裏表紙について>

■この冊子は、エネルギー・環境教育の趣旨にご賛同される企業様に、印刷協力をいただき、作成しています。協賛企業のうち1社のエネルギー・環境教育や啓発事業についての取組みを次ページで紹介しています。

＜企業の環境への取組み（事例紹介）＞



さあ、みんなでサステナブルはじめよう！

(株)OSGコーポレーション

「ステハジ」プロジェクト



“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して

誰でも（Everyone）子供から高齢者・企業・自治体など、
毎日（Everyday）、どこでも（Everywhere）少しの意識と行動で、
海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を
個人・企業・自治体が一体となって 啓発・実践し みなさんと共に行動変容
に取組むプロジェクトです。 ※「ステハジ」プロジェクトは、OSGコーポレーションの商標登録です。

マイボトルの持ち歩きを日常に



マイボトルの啓発
飲み物をマイボトルで持ち歩く日常（未来）

子ども達は、毎日学校に水筒を持って登校しています。
でも、大人は、お金を持っているのでつい無意識に
ペットボトルを買っています。
実は、子どもの方がSDGsを毎日実践してくれています。
※こどものコエを大人のエコにつなげていきます。

ボトルの中身が無くなれば いつでも・どこでも給水が日常に



私の給水スポット 自宅の給水スポット
いつでも
出かけるときには
マイボトルに飲み物を給水

私たちの給水スポット 職場や学校、スーパー・ドラッグ
など、人が集まる場所で
ボトルの中身が無くなれば
給水できる場所

みんなの給水スポット 誰でも給水できる場所
どこでも給水が当たり前。
交通・公共施設/飲食店/複合施設などが
給水場へ

マイボトルを持ち歩いてみると、こんなことに気が付きます。
「中身が無くなった」時には、どこで給水すればいいだろうか？
残念ながら「自動販売機」や「コンビニ」などで、ペットボトル
などを購入して補給している人がほとんどです。
いつでも・どこでも・だれでも 給水できるスポットを上げていくと
ごみが減るだけでなく「熱中症予防」の対策にもなります。

体験＝行動変容のキッカケに （ごみ拾いする人は、ごみを捨てない）



プラ干狩り

全国15カ所230名
マイクロプラス
チックを回収



インドネシア フィリピン 日本



世界と一緒に
ビーチクリーン

MY BOTTLE IS A BATON

未来へつなぐ、私たちのマイボトル



象印マホービンでは、マイボトルを多くの人に利用
してもらうために、カフェなどのおいしい飲み物を
マイボトルに入れてもらえるお店を増やす取組みや、
イベントなどでの啓発活動を2006年から行っています。



繰り返し使えて、電気を使わずに保温・保冷ができる
マイボトル。「MY BOTTLE IS A BATON」という
スローガンには、マイボトルを通して使い捨てのプラ
スチックごみを減らし、豊かな自然を次の世代に繋い
でいこう、という思いが込められています。

象印マホービンの取組みは
こちらをご覧ください。▶▶▶

(象印マホービン(株)WEBサイト「ずっと、マイボトルと。」)



お店こだわりの飲み物をマイボトルに入れて
テイクアウトできる「給茶スポット」



イベントでマイボトルの持参を呼びかける
「出張！給茶スポット」



<企業の環境への取組み（事例紹介）>



子どもたちの未来につながる水を、多くの皆さんにとどけるために、
ブリタジャパンでは様々な環境保全活動を行っています。



ブルーオーシャンビジョン実現のために 大阪府・大阪市との事業連携協定締結

海洋プラスチックごみの削減をはじめとする環境関連分野におけるパートナーシップを構築し、相互に密接な連携を図ることにより、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けた取組等を推進し、豊かな環境の保全と創造を進めていきます。



大阪府・市との事業連携協定の詳細
は、こちらをご覧ください▶▶▶



森を育て“水”を守り、環境保全について考える 富士山麓での育林活動

山を守り、森を育てることは、水を守り生活を守ること。
2007年に開始した富士山麓での植樹、育林活動は、NPO法人、
ブリタジャパン社員、ユーザー（ブリタクラブ会員）三者での
プロジェクトとして定着しています。



ブリタのさまざまなサステナビリティへの
取り組みは、こちらをご覧ください



環境教育に関するイベント

みんなで一緒に取り組もう！
SDGs

COOL CHOICE
Plastics Smart

エコとわざ

「美しい地球で暮らしていくために、私たちに何ができるか考えよう～2050年どんな未来にしたいかな～」

第13回 エコなことわざ大募集！

「美しい地球で暮らしていくために、私たちに何ができるか考えよう～2050年どんな未来にしたいかな～」

募集対象 全国の小・中学生
募集期間 2022年6月4日～9月10日まで

募集要項
1. 募集期間：2022年6月4日～9月10日まで
2. 募集対象：全国の小・中学生
3. 募集内容：エコなことわざ（例：エコなことわざ、エコなことわざ）
4. 募集場所：エコとわざ事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）
5. 募集方法：Webサイト（https://www.eco1st.jp/）またはメール（eco1st@eco1st.jp）
6. 募集料：無料
7. 募集締め切り：2022年9月10日午後5時
8. 募集結果：2022年10月頃に発表
9. 募集問い合わせ先：エコとわざ事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）
10. 募集お問い合わせ先：エコとわざ事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）

主催：エコファースト推進研究会 後援：大阪府 協力：ZAIRUSHI TIGER Peacock

こどものコエを大人のエコにつなげよう

コエエコ

コンテスト

みんなが「SDGs 子ども先生」になって
大人たちに「使い捨ては恥ずかしい」を伝えよう

テーマについては、「使い捨てから生まれる」問題から選んでください。
みんなはマイボトル（水筒）をいつも持っているけど、大人は毎日マイボトルを持ち歩いていない！
「マイボトルでの飲み物の持ち歩きを大人にも伝えよう！」ペットボトルごみの削減につなげよう！

★「考えよう！わたしたちのくらしの環境・エネルギー～プラスチックごみ問題～を参考に考えてみよう。
★「みんながこれまでに経験したこと」を参考に考えてみよう。

詳しくは、Web サイトをご覧ください！
URL: <http://www.osg-nandemonet.co.jp/event/koe-eco.html>

コンテストチラシはこちら

主催：ステパシ PROJECT 後援：大阪府 協力：OSG water*net ZAIRUSHI TIGER Peacock